

KYOTO MUNICIPAL MURASAKINO HIGH SCHOOL 2027

京都市立紫野高等学校 普通科 / アカデミア科
令和9年度 学校案内



沿革

1952 (昭和27)年	創立
1954 (昭和29)年	校歌制定
1985 (昭和60)年	普通科第Ⅰ類・第Ⅱ類・第Ⅲ類(体育系)を設置
1992 (平成4)年	オーストラリア・シュヴァリエ・カレッジと姉妹校提携
1993 (平成5)年	第Ⅲ類体育系を英文系に変更
2003 (平成15)年	創立50周年式典、文部科学省SELHi校指定
2013 (平成25)年	ユネスコスクール加盟
2014 (平成26)年	普通科第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ類を普通科スタンダードクラス・アドバンストクラス、アカデミア科に再編
2022 (令和4)年	普通科スタンダードクラスをアドバンストクラスに統合し、普通科を一本化



自由と規律 参加と協力 知性と創造

京都市立紫野高等学校は、ユネスコスクールとして「一歩踏み出す Global Citizen」の育成を目指し、次の3条を本校の使命とします。

- 多様性を認め合い、他者とともに新たな価値を創造することを大切にする学校であり続ける。
- 地域から全国へ、さらに国外へと連携を広げ、京都から世界につながる学校であり続ける。
- 自らルールを作り自ら律することで、生徒一人ひとりが自由を体現できる学校であり続ける。

ごあいさつ



学術顧問
明石 康 ● AKASHI Yasushi
 国立京都国際会館理事長、
 元国連事務次長

この古都の高校から 若者が続々と海外に飛躍しても、私は驚かない

京都市の高校の中でも紫野高校は目立った存在に見える。
 まず、この高校の名前は紫野であり、万葉集の中でも傑出した額田王の恋愛歌で有名である。

この学校が位置する場所は伝統のある大徳寺と今宮神社に近く、ここで学ぶ生徒たちは、古都の伝統をたっぷり継承しながらも、同時に明るく行動的・現代的に見える。先生たちも生徒たちも、どちらも国際的であると私には思われる。

この高校から海外に飛躍できる若者たちが続々と出てきても、私は驚かないことだろうし、それが当然のようにも思われる。



京都から世界に繋がる学び場へようこそ

このパンフレットを手にとってくれた皆さん、本校に興味をもってくださりありがとうございます。皆さんは本校にどんな印象をお持ちですか？ このパンフレットの最後の見開きで、「卒業生からのメッセージ」を紹介しております。まず彼らの言葉をご一読いただければ、本校の魅力が伝わってくるのではないのでしょうか。

私は、本校の魅力の一つ挙げるなら、どんな生徒でも、自分らしさとして、お互いを自然と受け入れ合うことができる本校生徒の気風だと思っています。性自認、国籍、発達特性、出身中学、容姿、キャラその他、私たちにはさまざまな属性がありますが、「紫高（むらこ）だから自分らしく過ごせた」と嬉しそうに語り、卒業していった生徒を何人も見えました。

間もなく、国籍、言語、信仰、文化や習慣の異なる人々と、同僚として、先輩後輩として、上司部下としてともに普通に働く時代がやってくるといわれています。紫高は、そうした環境を楽しみ、自ら飛び込んでいけるような生徒が集う学校です。本校はそんな皆さんの期待に応え、世界と繋がり、皆さんが豊かな高校生活を送るための刺激に満ちた学び場であることをお約束します。本校で皆さんとお会いし、お話しできる日を楽しみにしております。



学校長
景山晋之介 ● KAGYAMA Shinnosuke

紫野高の「日常」に息づく“自由”の気風。

青年期のかけがえのない3年間。ありのままの自分で行動したい。
 自由な発想で世界に飛び出したい。ユニークな仲間とお互いに高め合いたい。
 そんなふうに考えるあなた、答えは紫野高校にあります。



生徒会活動

本校生徒の独立不羈の気風は、学校生活を活性化させ、生徒全体の自治の意識を高めている生徒会執行部の活気によるところが大きいです。自分たちの手で学校をもっとよくしたい、変えたいという意欲のある生徒を歓迎します。



部活動

部活動は生徒が自主的に参加する課外活動の目玉です。現在、体育系15部・文化系11部が活動しており、全生徒のおよそ80%が加入しています。

体育系	文化系
アーチェリー	ESS
チアダンス	茶道
テニス	書道
女子バレーボール	吹奏楽
男子バレーボール	地学
女子バスケットボール*	美術
男子バスケットボール	軽音楽
体操*	漫画・アニメ
卓球	ホームメイキング
ソフトテニス*	放送局
バドミントン	新聞局
サッカー	
野球	
陸上競技	
水泳	

*強化指定部

4月
APRIL

- 入学式(1年)
- 前期始業式
- 部活動紹介

5月
MAY

- 団体鑑賞
- 遠足
- 生徒大会

6月
JUNE

- 球技大会
- 前期中間考査

7月
JULY

- 進路相談週間
- 英語集中セミナー
- 進学補習
- 高大連携講座

8月
AUGUST

- オーストラリア
姉妹校交流

9月
SEPTEMBER

- 文化祭
- 前期末考査
- 前期終業式

10月
OCTOBER

- 後期始業式
- 体育祭
- 進路相談週間

11月
NOVEMBER

- 人権学習
- 英語スピーチ
コンテスト
- 探究成果発表会
GCフェスタ

12月
DECEMBER

- 後期中間考査
- 進学補習

1月
JANUARY

- 百人一首大会

2月
FEBRUARY

- ユネスコスクール
記念講演会
(実施時期は毎年調整)

3月
MARCH

- 学年末考査
- 海外修学旅行(1年)
- 卒業式(3年)
- 後期終業式

7月



英語集中セミナー

夏にネイティブスピーカーと少人数グループでどっぷり英語に浸る濃密なイベントです。

8月



姉妹校 シュバリエ・ カレッジ(オーストラリア) 交流

30年以上の伝統を誇る姉妹校交流で、1年おきに訪問と受入れを交互に行っています。(令和8年度は12月に受入れ)

9月



三大学校行事1 文化祭

前期末に行われる学校あげての行事で、クラス、部活動、有志と多様な団体が参加する3日間の盛大なイベントです。

10月



三大学校行事2 体育祭

運動に適した気候の後期初めの10月に行われます。全校で学年を縦割りした色別対抗で、硬軟取り混ぜた多彩な競技を通して団結力を高めめます。

11月



英語 スピーチコンテスト

両学科で予選を勝ち抜いた代表生徒が毎年感動的なスピーチを披露してくれます。先進的な英語教育という本校の特長を最もよく表す、伝統的な学校行事です。(隔年実施)

11月



紫野シティズンシップ 教育の集大成! 探究成果発表会

総合的な探究の時間「Global Citizenship I・II」の総仕上げとして取り組んだ企画やレポートを発表する舞台です。2年生と1年生による対話を通じた知の交流の場でもあります。

2月



紫野高ユネスコ スクール記念講演会

2021年から本格的に始まった新しい取組で、ユネスコスクールの理念に沿って毎年多彩な講師をお招きし、平和や人権など、人類が恒久的に追求するべき諸価値に関わる問題について考えます。(実施時期は毎年調整)

3月



卒業式

制服のない本校ならではの華やかな式典です。毎年、卒業生は思い思いの晴れ着で着飾り、門出の決意を表現します。

3月



三大学校行事3 海外修学旅行

1年次の3月に普通科・アカデミア科とも海外に行きます。総合的な探究の時間「Global Citizenship I」を中心に1年間の学習で身につけたシティズンシップを発揮する、年間の集大成となるイベントです。
[普通科] マンシア [アカデミア科] オーストラリア

一歩踏み出すGlobal Citizenになる

本校は、「一歩踏み出す Global Citizen」を目指して教育課程を構想し、「今、ここ」の自分から世界につながるユネスコスクールをコンセプトに、常に教育活動をアップデートし続けます。

School Policy & Curriculum

■むらさきのGCED

自由な発想のもと、地球的視野でものごとを考え、多様な他者と認め合っアクションを起こせる市民を目指すグローバル・シティズンシップ教育 (GCED)。本校は、入学時、在学中、卒業時の生徒の姿を、「自由の体現」「地球規模の視野」「多様性への態度」の3視点で貫いてスクール・ポリシーを設定し、GCEDを推進します。また、教育課程を社会に開き、世界を知る→自分を顧みる→進む道を定める、という3段階で学びを深めます。

普通科 (1学年200名)

少人数クラスのきめ細やかな授業で、インタラクティブな学びを充実。2年次から人文・社会科学コースと自然科学コースに分かれます。

アカデミア科 (1学年80名)

多彩な専門科目で自由闊達な議論を行い、アカデミックな学びを実現。2年次から人文・社会科学コースと自然科学コースに分かれます。

■令和9年度入学生カリキュラム (アカデミア科は下記の一部科目に代えて同単位数の専門科目を履修)

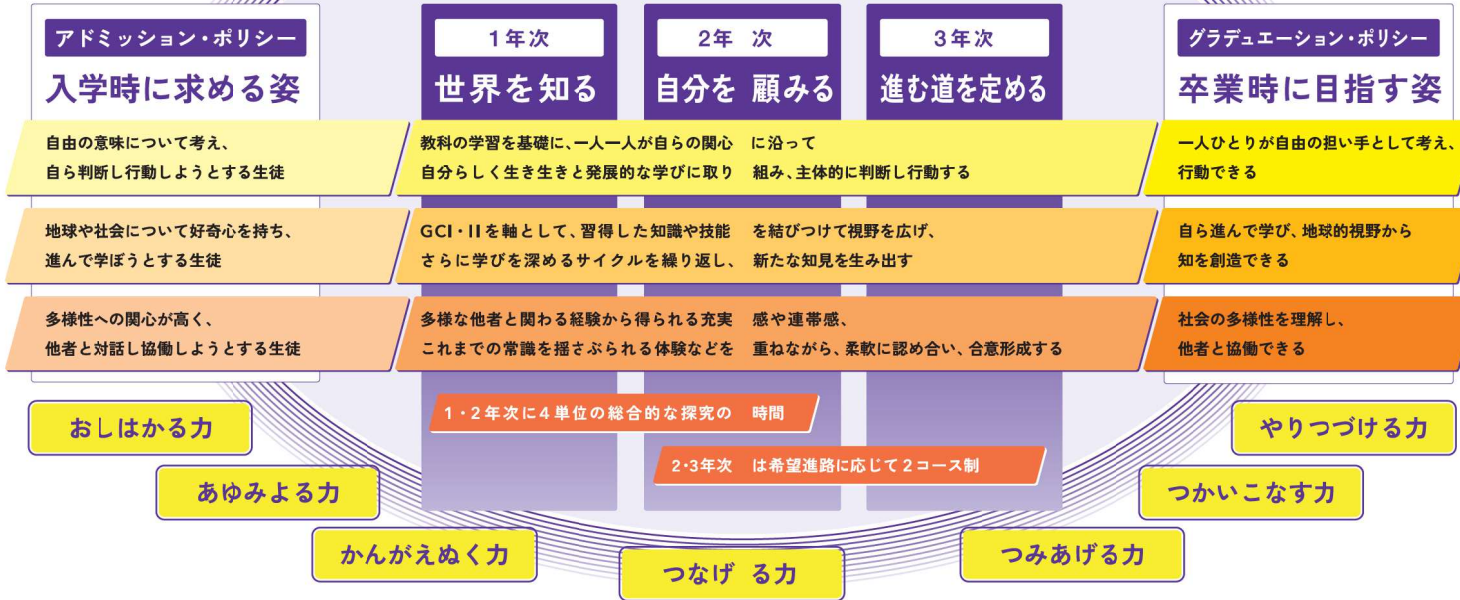
※令和9年度入学生カリキュラムは、一部変更の可能性があります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年 共通	現代の国語 2	言語文化 3	歴史総合 2	公共 2	数学Ⅰ 3	数学A 3	化学基礎 2	体育 3	保健 1	英語 コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 3	家庭基礎 2	情報Ⅰ 2	総探(GCI) 2	L 2	HR 1																		
2年 人・社	論理国語 2	国語科目 3	地理総合 2	日本史探究 or 世界史探究 3	数学Ⅱ 4	数学B 2	生物基礎 2	地学基礎 2	体育 2	保健 1	芸術Ⅰ 2	英語 コミュニケーションⅡ 4	論理・表現Ⅱ 2	総探(GCII) 2	L 2	HR 1																		
2年 自然	論理国語 2	国語科目 3	地理総合 2	数学Ⅱ 4	数学3 2	理科基礎A 2	理科基礎B 3	化学 2	体育 2	保健 1	芸術Ⅰ 2	英語 コミュニケーションⅡ 4	論理・表現Ⅱ 2	総探(GCII) 2	L 2	HR 1																		
3年 人・社	論理国語 2	国語科目 4	日本史探究 or 世界史探究 or 政治・経済 4	地理探究 or 倫理 or 政治・経済 4	選択科目Ⅰ* 5 or 2	選択科目Ⅱ* 2	選択科目Ⅲ* 2	体育 2	英語 コミュニケーションⅢ 4	論理・表現Ⅲ 2	L 1	HR 1	情報演習* 2																					
3年 自然	論理国語 2	国語科目 2	地理探究 or 倫理 or 政治・経済 3	数学Ⅲ(4) + 数学C(3) or 数学IBC演習科目 7	物理 or 生物 5	化学 4	体育 2	英語 コミュニケーションⅢ 4	論理・表現Ⅲ 2	L 1	HR 1	情報演習* 2																						

*選択科目Ⅰ：[普通科] 数学演習5単位数または国語・英語の発展科目2単位数から1つ選択 [アカデミア科] 数学研究5単位数か Current English2単位数から1つ選択
*選択科目Ⅱ：[普通科・アカデミア科とも] 理科・芸術・家庭の発展科目2単位数から1つ選択
*選択科目Ⅲ：[普通科] 理科・体育・家庭の発展科目2単位数から1つ選択 [アカデミア科] 理科・家庭の発展科目2単位数から1つ選択
*情報演習：[普通科・アカデミア科とも] 選択科目、履修する生徒は3年次計最大34単位、履修しない生徒に3年次計最大32単位

カリキュラム・ポリシー

在学中に学びに取り組む姿



■ユネスコスクールとして

創立以来の自由の校風、英文系の蓄積などを強みとする本校は、2013年度からユネスコスクールに加盟しました。ユネスコが提唱する教育理念「学びの4本柱」は本校スクール・ミッションとも共鳴するものであり、平和の実現、持続可能な社会の実現に向けた教育活動に一層力を入れていきます。



岡真理先生によるバレスチナ問題に関する講演会。

ユネスコの提唱する「学びの4本柱」

- Learning to know (知ること学ぶ)
 - Learning to do (為すこと学ぶ)
 - Learning to be (人間として生きること学ぶ)
 - Learning to live together (共に生きること学ぶ)
- ユネスコスクール公式ウェブサイト
<https://www.unesco-school.mext.go.jp> より

■豊富な課外活動

教育課程外の教育活動 (課外活動) も学校生活の重要な要素です。本校では部活動以外にも、大学と連携した研究室訪問や出前授業、提携農園での援農体験、教員の自主企画によるトークイベントなど、豊富な課外活動を準備しています。

提携大学・機関

京都工芸繊維大学 / 京都府立大学 / 立命館大学 (連携協定) / 立命館アジア太平洋大学 (連携協定) / マレーシア8大学 (連携協定) / 京都産業大学 / 清水農園など



箱農園で地域の伝統農法を体験。



高大連携事業で研究室を訪問。



京都府立盲学校との音楽交流。



ALTとの異文化トークイベント。

総合的な探究の時間

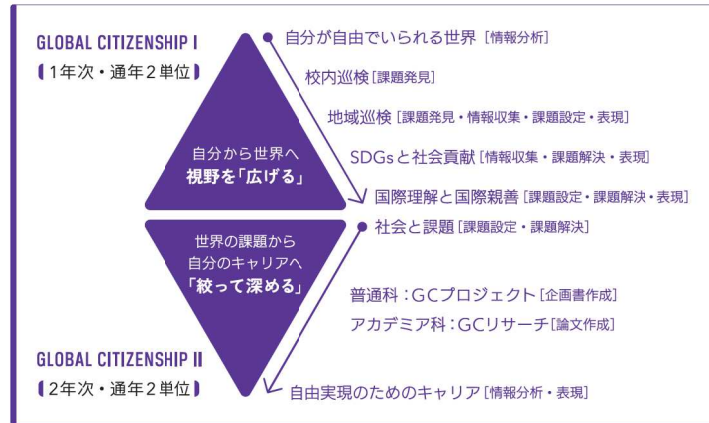
本校は、教育目標として「一步踏み出す Global Citizen」を掲げています。
 “一步踏み出す”とは、知識を身につけ理解するだけでなく、
 実際に自分の行動を変えること・実践に移すことを想定しています。

また、“Global Citizen”とは、「自分が暮らしている地域、国、そして地球の問題を、
 自分自身の問題と考へて行動する人間」であると捉えています。

これからの国際社会では、多様性を受け容れ、他者を尊重しながら合意形成し、
 差異を超えて協働するための考え方や技術を身につけた
 シェア市民となれるかが鍵となります。

Global Citizenship I・IIはこんな授業!

本校では、従来の道徳教育、キャリア教育、人権教育、国際理解教育などを総合した「市民教育」、すなわち、他者を尊重し国際社会で生きていける教養豊かな市民を育てる「グローバル・シティズンシップ教育 (GCED)」の実践を目指しています。その根幹となるのが、SDGsを取り入れた本校独自の総合的な探究の時間「Global Citizenship」です。総合的な探究の時間は、教科・科目に細分化せずに、ストレートに「どう生きるか」について考え、学び合う時間で、全教科の教員が授業を通して皆さんと関わります。むらさきのGCEDの「世界を知る→自分を顧みる→進む道を定める」の流れに沿って、全生徒が1年次に「Global Citizenship I」2単位、2年次に「Global Citizenship II」2単位の計4単位を履修します。



在京都フランス総領事の特別講演。



探究成果発表会 GCフェスタ。

Global Citizenship I

1年次はレゴ®ブロックを使って自分の脳内世界をアウトプットする単元を出発点に、実際に自分の足で歩く体験を校内から地域へと広げた後、地球規模の課題を考える単元に取り組み、年度末に総仕上げとして海外修学旅行で異文化を体験します。



レゴ®ブロックを用いた導入単元。



双方向型の学習活動がメイン。



Global Citizenship II

1年次に世界に広げた視野を保ちながら、もう一度自己に立ち返り、自分の内面を深く掘り下げます。普通科は企画書作成、アカデミア科は論文作成と目指す成果物は異なりますが、いずれも世界の諸問題を自分ごととして捉え、最後に“自由”というキーワードで自己の将来を展望します。



MIT App Inventor を使ったアプリ開発。



質問も伸ばしたい重要な資質。

SDGsへのアプローチを取り入れた探究学習

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、2030年まで10年を切った今、本校では探究学習を通してSDGsを自分ごととして捉え、何ができるかを考える実践意欲を高める活動に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



学習は独自テキストを使用

本校では、校内で独自に作成したテキストを用いて授業を行っています。1年間の学習内容が一冊ずつ製本されているので、プリント学習と異なり、授業の全体像を見通すことができ、単元ごとの教材を紛失する心配もありません!



起伏に富んだ緑豊かなキャンパス

今宮神社の大鳥居をくぐると、大徳寺の敷地内に見えてくる紫野高。
古都の歴史と四季折々の自然豊かな立地そのものが、わが校の自慢です。



① 食堂棟

頭を使うとお腹が減る。本校生徒の胃袋の強い味方です。人気の日替わりメニューは中休みに食券ゲットが基本です。テイクアウト可能な軽食も充実。



② 森

校舎の奥の斜面に鬱蒼と繁るこの森が、本校キャンパスに大きな癒しとちょっぴりの驚き(教室に〇〇〇〇や〇〇〇が出現)をもたらしてくれます。



③ Lカフェ

2021年に整備されたばかりの図書館併設スペースで、プレゼンテーションやディスカッションなど、双方向型の授業に最適な空間です。本校生徒の主体的な学びの新たな発信基地と言えます。



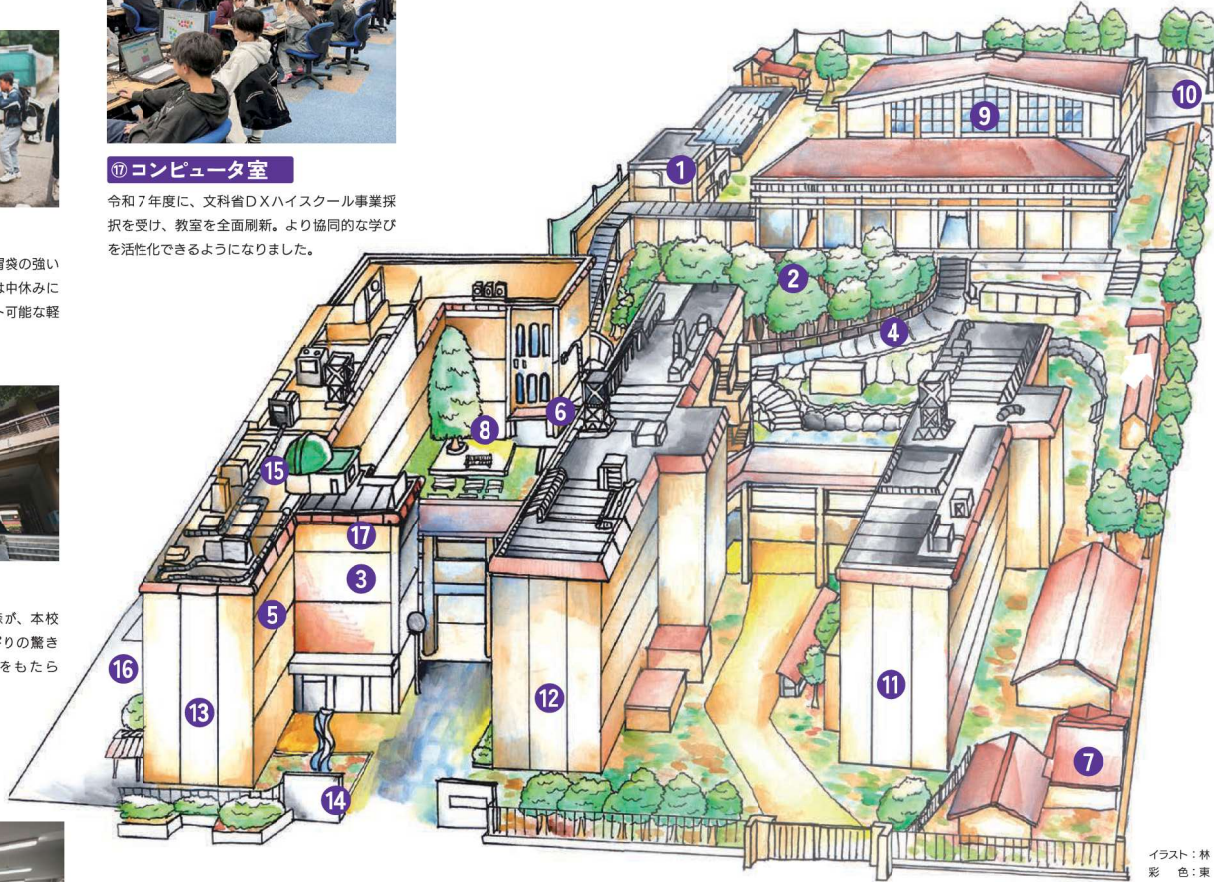
⑦ コンピュータ室

令和7年度に、文科省DXハイスクール事業採択を受け、教室を全面刷新。より協同的な学びを活性化できるようになりました。



④ 石畳階段

体育館へ向かう丘の森を縫うように上る石畳階段。文化祭では模擬店通り、卒業式では部活動の後輩が先輩を見送る花道と、季節ごとにさまざまな表情を見せてくれます。雨の日は滑りやすいから気をつけて！



⑨ 体育館

キャンパスの一番奥、森を抜けた小高い丘の上に立っています。屋内競技のほか、式典、文化祭、学年集会、講演会など、さまざまな場面で活用します。



⑧ 中庭

昼休みには吹奏楽部や軽音楽部のライブも。文化祭では生徒会企画のステージが設けられ、生徒の間で始まったハロウィンの仮装のメイン会場となるなど、本校生徒の文化的活動の中心です。アイデア次第でまだまだ活用機会が増えるかも？



⑦ 茶室

キャンパスの北東の隅には茶室があり、茶道部の活動の拠点にもなっています。2022年にコンセントが整備され、校舎から延長コードを引かなくてよくなり、夏も快適になりました！

⑩ 北門

住宅街の先にあるグラウンドへの通り道。

⑪ 北校舎

1年生の教室や各理科室など。

⑫ 中校舎

各芸術室や家庭科室、小職員室など。

⑬ 南校舎

上級生の教室や図書室、保健室、校長室、大職員室など。

⑭ 正門

春は桜が咲き誇る本校の玄関口。

⑮ 天文台

月食や流星群など天体イベントのある日は大活躍。

⑯ 駐輪場

約7割の生徒が自転車通学。

イラスト：林 賢希 (本校卒業生)
彩色：東 咲良 (令和6年度入学生)



⑤ 図書室

歴史を感じさせる書架を生かした、レトロな風情が増えない本校生徒のための知の殿堂です。カーペット敷きで、上履きでLカフェと行き来が可能です。



⑥ 生徒会ボックス

本校生徒の自治の象徴、生徒会執行部の拠点です。ここからさまざまな生徒会企画のアイデアや、学校生活のさらなる充実に向けた意見が発信されます。

生徒会執行部に聞く！ 紫野高Q&A

Q 進学先を決めるとき、紫野高校を選んだ決め手はなんですか？

A

- 私服だったから
- ホームページをみて楽しそうと思ったから
- 自分の学力にあったから
- 個性を大事にしてくれそう
- 知り合い(兄弟や先輩)が通っていて、すごく楽しいと聞いたから
- リーダーシップのある人がいるから行事も楽しいと聞いたから
- 海外研修ができる場所、留学しやすいから
- ALTの先生が常駐しているから
- 英語の成績が伸びると聞いたから

Q 入学してみて驚いたことや、紫野高校の長所だと感じたことはどんなことですか？

A

- イベント(ハロウィン、ポッキーの日など)が生徒主体・生徒発信で行われているところ
- 私服だからヤンキーが多いかと思いきや、まじめで行事も頑張るところ
- 個性を出しやすい、自分を隠す必要なし
- ALTの先生の数が多い
- 先生たちがよい
- 勉強、部活動、趣味……いろんなことに興味のある人がいる
- 一人になることがない、誰かしら気の合う人がいる
- 英語の先生がALTの先生と英語で話しているところを見てかっこいいとおもう

Q 紫野高校の授業はどんな感じですか？

A

- ベアワークが多いから手を挙げたり、発言したりする機会が多い
- 授業の進行がスムーズ
- 先生のサポートが手厚い(ちゃんとわかっているか確認してくれる)
- 先生との距離感が近い
- 提出物が多い、小テストが多い

Q 進学先に迷っている中学生に、紫高生として伝えたいメッセージをお願いします。

A

- 自分が何が好きなかを把握して高校を決めてください
- 向いているところに行くのがベスト
- 迷っているなら、とりあえず行ってみたい、HP 見たり、聞いたりして行動する。そこから何か発見があるはず！
- 実際1回は学校に行ってみて！
- 通うことを想定して、通学路や校舎を見ておく(長所、短所を見つけること)
- とにかく“自分で”決めてほしい(他人に言われて選択して後悔することのないように)
- 中学校の先生や先輩の話を聞いてみる
- その学校がアピールしているところをその学校の先生に詳しく聞いてみる

高校での学びの先へ～過去3年間の進路実績～

本校では、大多数の生徒が卒業後、4年制大学へ進学します。現役での4年制大学への進学率が高いですが(令和7年度卒86%)、その他にも自分なりの将来展望をもって、それぞれの進路実現を目指す生徒もいます。京都から日本全国へ、そして世界へと、生徒一人ひとりが多様な一歩を踏み出してくれることが大事だと考えています。

国立大学合格者

大学名	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
北海道大学	3		1		1
小樽商科大学		1			
群馬大学		1	1		1
筑波大学		1			
東京海洋大学	1				
横浜国立大学	1				
信州大学			2		2
静岡大学	1				
名古屋工業大学	1				
三重大学		1			
福井大学	2	5			
金沢大学		2		1	1
富山大学	1	1	1		1
滋賀大学	3	1	3	1	4
京都大学	1	1	1	1	1
京都教育大学	2	2	3	2	3
京都工芸繊維大学	3	3	4	2	6
大阪大学	2		3	3	3
大阪教育大学			2	2	2
神戸大学	2	2	1	1	1
和歌山大学			1	1	1
愛媛大学	2				
徳島大学	1	1	1	1	1
鳥取大学	2		1	1	1
広島大学	1	2	1	1	1
島根大学	1	1	1	1	1
山口大学		1			
宮崎大学		1			
大分大学			1	1	1
長崎大学	1				
鹿児島大学	1	2			
琉球大学	1		1	1	1
国立大学 合計	32	29	27	6	33

私立4年制大学合格者

大学名	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
金沢工業大学	1				
関東学院大学		1			
専修大学	1				
東京工科大学		1			
明治学院大学			1	1	1
中央大学	1	1	1	1	1
帝京大学	1				
国学院大学			1	1	1
武蔵野美術大学	1				
武蔵野大学				1	1
学習院大学			2	2	2
東京理科大学		1			
東洋大学		1	3		3
拓殖大学				2	2
日本大学	1	1	1	1	2
立教大学	1	1	3	3	3
明治大学				1	1
法政大学	1	2	2	2	2
上智大学			1	1	1
東京工芸大学	1				
早稲田大学	3		2	2	2
豊田工業大学	1				
中京大学		2	1	1	1
南山大学			1	1	1
名城大学				1	1
金沢工業大学	1				
びわこ成蹊大学			1	1	1
成安造形大学		1			
大谷大学	11	16	11	11	11
京都医療科学大学	1	1			
京都外国語大学	4	1	4	4	4
京都看護大学	2	1	3	3	3
京都光華女子大学	2	1	1	1	1
京都産業大学	105	184	136	8	144
京都女子大学	5	6	13	13	13
京都精華大学	4	2	1	1	1
京都先端科学大学	13	14	23	1	24
京都文教大学			2	1	3
京都芸術大学	11	2	14	14	14
京都樟大	49	24	69	69	69
京都・トールダム女子大学	1	4			
京都美術工芸大学	1	1	1	1	1
京都文教大学		5	2	2	2
京都薬科大学		2	3	3	3
嵯峨美術大学		1	1	1	1
同志社大学	33	53	37	4	41
同志社女子大学	15	13	15	2	17
花園大学		3			
佛光大学	18	84	37	37	37
明治国際医療大学	2				
立命館大学	135	140	108	5	113
龍谷大学	93	166	135	18	153
龍野大学	1	1			
大阪理科大学		1	2	2	2
追手門学院大学		22	13	13	13
大阪経済大学	1	11	11	11	11
大阪工業大学	15	2	7	7	7
大阪産業大学	4	12			
大阪成蹊大学			1	1	1

公立大学合格者

大学名	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
国際教養大学			1	1	1
横浜国立大学	1				
静岡文化芸術大学	2				
公立諏訪東京理科大学	1				
愛知県立大学	1			1	1
遠賀県立大学	3	6	2	2	2
京都市立芸術大学	2	1	1	2	2
京都府立大学	7	8	5	5	5
京都府立医科大学	1				
遠賀医科大学			1	1	1
奈良県立大学	1	1			
大阪公立大学	1				
神戸市外国語大学	1	2			
兵庫県立大学		1			
高知工科大学			1	1	1
高知県立大学				1	1
岡山県立大学		3	1	1	1
広島県立大学			2	2	2
下関市立大学	1				
公立大学 合計	20	23	14	3	16

大学名	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
大阪電気通信大学	3	14	16	16	16
大阪歯科大学	1	2	2	2	2
大阪芸術大学	3				
関西大学	31	36	24	8	32
関西医科大学	2				
関西外国語大学	29	9	21	2	23
大阪人間科学大学	1				
大阪総合保育大学	1				
近畿大学	77	59	17	15	32
摂南大学	5	16	23	1	24
森ノ宮医療大学	2				
大和大学	4				
大手前大学			1	1	1
関西学院大学	6	10	7	7	7
甲南大学		1			
神戸女学院大学	1				
神戸女子大学		4			
武庫川女子大学	1	5			
天理大学		1			
畿央大学		1			
岡山理科大学			2	1	3
倉敷芸術科学大学			1	1	1
久留米大学			1	1	1
純真学園大学			1	1	1
立命館アジア太平洋大学	3	1			
私立大学 合計	708	930	784	74	858

私立短期大学進学者

短期大学名	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
華頂短大	1				
白鳳短大	1				
関西外国語大学短期大学部	1	2	1	1	1
私立短期大学 合計	3	2	1	0	1

専門学校・各種学校等進学者

学校名等	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
専門学校・各種学校	9	9	6	6	6
専門学校・各種学校等合計	9	9	6	0	6

※予備校等を除く

就職

職種	6年度	7年度	令和8年度		合計
			新卒	既卒	
公務員	1				
その他	1	1	1	1	1
就職 合計	2	1	1	0	1

令和8年4月1日現在

卒業生からのメッセージ

紫野を卒業して、次の一步を踏み出した卒業生。

みんな本校での経験を糧に、さまざまなフィールドで生き生きと活躍しています。

そんな先輩たちから、本校を目指すみなさんへのメッセージです。



大阪大学大学院 国際公共政策研究科 比較公共政策専攻

池内里桜 ● IKEUCHI Rio

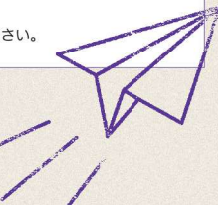
アカデミア科 平成30年度卒

紫野高校での経験が、留学生とのコミュニケーションや研究テーマ設定に生きています

大学では国際公共政策学科という、社会課題の解決のために政府や地方自治体が行う政策（経済政策、外交政策、子育て政策など）と密接に関連する法学や政治学、経済学を学び、政策を立案したり政策の効果を分析したりする能力を身につける学科に進学しました。わたしはこの学科で、データを使って政策や大きな出来事が社会に与える影響を分析することの面白さを知り、大学院に進学してさらに研究活動に取り組むことにしました。

わたしの大学院は留学生が多く、日本人の先生でも英語で授業をすることが多いですが、紫野高校で身につけた英語力のおかげで、言語の壁を感じることなく授業に参加しています。また、紫野高校の英語の授業は英文のリーディングのような受動的な学びだけでなく、プレゼンテーションやライティングといった能動的な学びが多いことが特徴でした。ライティング等のトピックを考える中で、自分の関心のある社会問題等を掘り下げた経験が、今の大学院での研究に大きな影響を与えています。実際、現在取り組んでいる「アメリカの人種間の不平等」に関する研究のアイデアは、高校時代に授業で書いたエッセーのトピックに基づいています。英語「を」勉強することに加え、英語「で」学びたいこと、伝えたいことを考えることで、さまざまな選択肢が広がると思います。

紫野高校で自分の興味のあることを自由に探して、自分が1番楽しいと思う道を進む一步を踏み出してください。



同志社大学 神学部

李由美 ● LEE Yumi

アカデミア科 令和1年度卒

「求めなさい。そうすれば与えられる。」の言葉通り、大きな夢を応援してくれる高校です

高校1年生の時は、あまり行きたい学部がはっきりしていませんでしたが、2年生から始まった世界史の授業がとても面白く、また私がクリスチャンであることもあり、宗教に関心を持ち、同志社大学神学部を志望するようになりました。今は歴史だけではなく、宗教と福祉の関係にも興味があり、弱い立場にある子どもを助ける国際NGO団体の仕事に就きたいと思っています。

高校時代私はアカデミア科グローバルコース（現在の人文・社会科学コース）で学びました。英語の授業では、文法や、リーディングの授業ももちろんあります。それだけでなく、スピーキングの機会がたくさんあったことが私の英語力の向上につながったと感じています。例えば、授業内でのALTと一対一の会話や、クラスの前で個人もしくはグループでのスピーキングでのテストなど、様々な形式で英語を話す機会がありました。最初は、間違いを恐れていましたが、慣れてくると、英語を使うことが楽しくなりました。ここで得た経験が、英語に留まらず、新たに人に会いに行く姿勢につながったと思います。大学でも、障害者施設での実習やフィールドワークがある授業をとり、大学内では出会わない人と出会いに行ったり、手話の勉強を始めたたりしています。

部活動は、チアダンス部に所属していました。昼休みは昼練習、放課後も練習と部活動の毎日とても忙しく、勉強との両立は大変でした。それでもどちらも諦めずに頑張ったことは、今の自信につながっています。

紫野の先生は熱意があり、生徒と真摯に向き合ってくくださる方ばかりです。私も進路のことから、小さな悩みまで、たくさんの先生に相談のってもらいました。興味のあることややりたいことがあれば、積極的に先生や先輩など複数の人に聞いてみるといいと思います。自分が思っていた以上に道があることに気づくことができます。「求めなさい。そうすれば、与えられる。」(マタイ 7:7)という言葉の通り、やりたいことがどんなに大きな夢でも紫野なら応援してもらえますし、一步を踏み出すことができます！



Messages from Alumni

早稲田大学 商学部

西嶋大翔 ● NISHIJIMA Daito

普通科 令和2年度卒

学校の「日常」こそ、紫野高の精神性の通奏低音です

「日常」こそが紫野高校の全てです。好きな服を着て登校し、自分で選択した授業を受け、軽音楽や吹奏楽を片日に昼食を摂り、部活で汗を流し、下校する。そんな「日常」が紫野高校の魅力であり、私を精神的に豊かにしました。文化祭や体育祭などの学校の行事、日頃の授業や学校生活の雰囲気は、特有の文化の基で成り立つと考えています。紫野高校は、「自由と規律」、「知性と創造」、「参加と協力」を中心とした文化があります。個性を魅せることに寛容で、工芸を含む様々な芸術に触れ、大徳寺や今宮神社などの寺社仏閣の歴史を日々感じる。そんな精神性が通奏低音として学校全体を貫き、自己の精神を涵養させるほどの活力があります。

そして、その精神性は大学に進学しても大いに力を与えてくれます。大学では外国人留学生や育ってきた文化が異なる人で溢れています。その中で、どのように自己を表現し、他者を理解するのか、その端緒を紫野高校で学びました。学業は「消費者行動学」を中心に学んでいます。「消費者行動学」とは、消費者の購買行動を感情や慣習、トレンドなど様々な分野から分析することです。人間の行動を統計的に分析し規則性を見出すことは大変興味深いです。学業外では「早稲田祭運営スタッフ」をしています。約6万人が訪れる国内最大規模の学祭を学生主体で運営し、刺激的な日々を過ごしています。最後になりますが、高校を選ぶ際は、カリキュラムや合格実績など明確なもので判断するだけではなく、数字や文字に現れない形而上学的な観点から選ぶのも良いのではないのでしょうか。



大阪大学 人間科学部

大幸宙斗 ● OSAKA Hiroto

アカデミア科 令和3年度卒

紫野高校で培った「自由に道を切り開く力」が今の大学生活をより豊かにしてくれています

紫野高校での生活は、私の人生を変えたターニングポイントの一つです。

その理由は紫野高校が誇る「自由な校風」にあると思います。自由と言うと「自分の好きにできる」「制服を着なくていい」のようなイメージを持ちがちですが、私が紫野高校で学んだのは自由とそれに伴う責任です。紫野高校の校風と、そこで生活する友達みんな自分の自由を大切にするだけでなく、他人の自由を重んじる姿勢を常に持っていました。高校生だから、男だから、女だからといったカテゴリーに関わらず、その人の持つ自由な考えや行動を常に認め合うことができる環境だったと考えます。インド留学を決めた際も、コロナ禍で帰国し学年を一つ下げるようになった際も友達や先生は私の決断を尊重し、様々な面でサポートしてくれました。また、自分の好きな服を着て毎日登校することは、既存のジェンダー観に囚われず純粋に好きなことを追求する楽しさを教えてくれました。

自由に選択するということはその決断に伴う責任を引き受けるということです。高校時代に経験した留学、スピーチコンテスト、受験にはどれも苦勞が付きものでしたが、周りの人の支えに助けられながら、自分の選択に誇りを持ってのように全力で向き合うことができました。大学では高校よりもさらに開けた選択肢がありますが、紫野高校で培った「自由に道を切り開く力」が今の大学生活をより豊かなものにしていて実感しています。誰かに与えられた選択や従ったりするだけでは自分の行動に責任感を持って、その結果を他人に帰してしまおうとあります。しかし、私にとって紫野高校は「責任感を持って自分の選んだことを突き詰める」ことを応援してくれる貴重な環境でした。

それぞれの「自由」を持った周囲の人とのかかわりを通して、たくさんの刺激を受け、自分だけの高校生活、そして将来への新しい発見を紫野高校で見つけてみませんか。





△ 京都市立紫野高等学校

〒603-8231 京都府京都市北区紫野大徳寺町 22
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=300803>
 Tel 075-491-0221 Fax 075-492-0968

- 市営地下鉄烏丸線北大路駅から
市バス(1・北8・204・205・206系統): 8分
- JR嵯峨野線円町駅(西大路通)から
市バス(204・205系統): 17分
- 京阪本線出町柳駅から市バス(1系統): 21分
- 阪急京都線西院駅(西大路通)から
市バス(205系統): 24分

*いずれも船岡山バス停下車すぐ

